

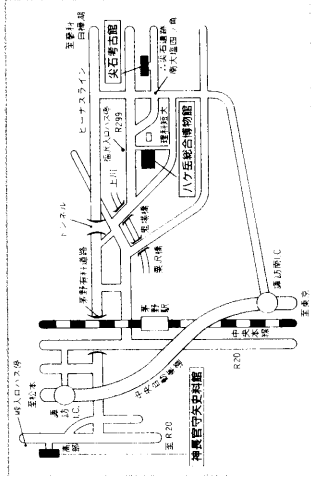
茅野市神長官守矢史料館のご案内

所在地 〒391 長野県茅野市宮川389番地の1
TEL・FAX (0266)73-7567
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 毎週月曜日と年末年始(12/29-1/3)・国民の祝日の翌日。ただしこの日が月曜日にあたる時はその翌日も休館。

観入館料

個人(1人1回)	大人	高校生	小中学生
	100円	70円	50円
団体(20人以上)	70円	50円	30円

交通案内
列車の場合 JR茅野駅下車、バスで高部バス停まで10分、徒歩3分(休日運休)
車の場合 中央自動車道諏訪ICから車で5分(駐車場あり)



茅野市八ヶ岳総合博物館のご案内

当館から車で15分のところにあります。是非お立ち寄り下さい。
 この博物館は茅野市の自然とそこに生きてきた人々の生き方を視点をあて、自然、歴史、産業、民俗と未来を総合的に展示、収蔵してあり、楽しく学習や調査、研究ができます。

所在地 〒391-02 長野県茅野市豊平6983番地
TEL (0266)73-0300 **FAX** (0266)72-6119
開館時間・休館日 茅野市神長官守矢史料館と同様

入館料

個人(1人1回)	大人	高校生	小中学生
	310円	210円	150円
団体(20人以上)	210円	150円	100円

交通案内
列車の場合 JR茅野駅下車、バスで福沢入口バス停・理科大入口バス停まで10分、下車徒歩数分
車の場合 中央自動車道諏訪ICから車で15分(駐車場あり)

茅野市尖石縄文考古館のご案内

当館から車で25分のところにあります。是非お立ち寄り下さい。
 尖石縄文考古館は尖石遺跡の近くに建てられ、茅野市内の縄文時代を中心とした遺物約1,000点を収蔵し、中部高地における縄文中期の文化のすばらしさを私たちにみせつけてくれます。

所在地 〒391-02 長野県茅野市豊平4734-132番地
TEL (0266)76-2270
開館時間・休館日 茅野市神長官守矢史料館と同様

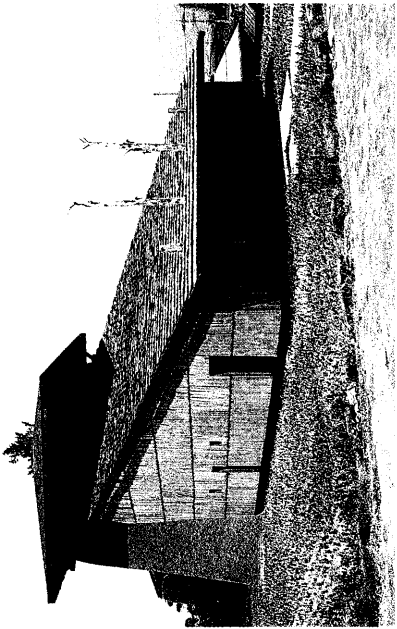
入館料

個人(1人1回)	大人	高校生	小中学生
	500円	300円	200円
団体(20人以上)	400円	200円	150円

交通案内
列車の場合 JR茅野駅下車、バスで尖石縄文考古館バス停まで20分
車の場合 中央自動車道諏訪ICから車で25分(駐車場あり)

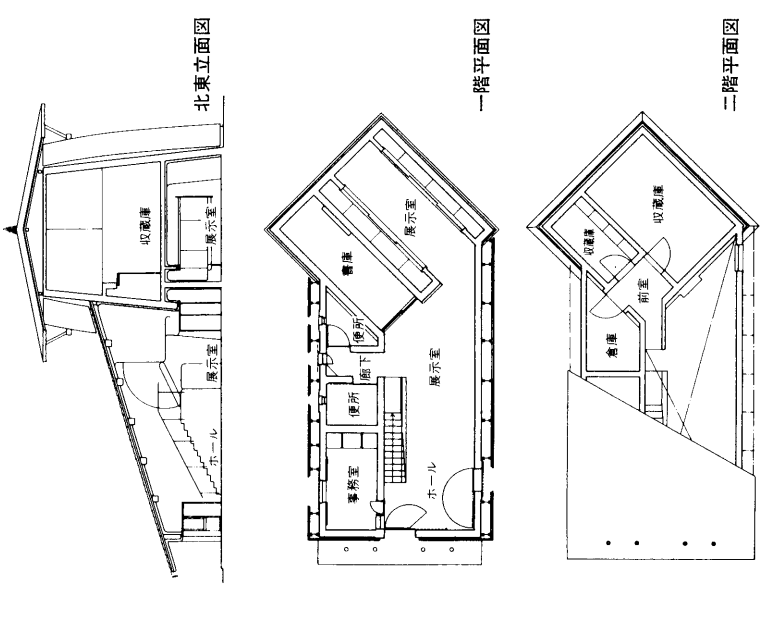


*入館料を改正する場合がありますのであらかじめお問い合わせ下さい。



全景
 鉄筋コンクリートの構造の上に、壁体部分においては内外とも特別調合の壁土を塗り、床面は同様のタタキとし、さらに一部壁土の上にはサワラ手割板をかぶせています。また屋根には地元産の平石と天然スレートを用いています。正面入口の庇を貫く4本柱は地元産のミネソクの樹を使っています。

茅野市神長官守矢史料館立面図平面図



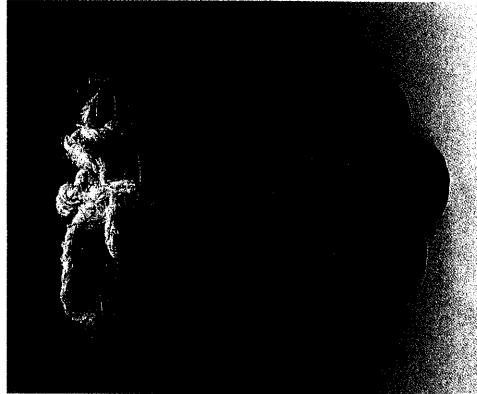
■御頭祭り

神長官守矢家が司る諏訪大社上社の祭祀のうち、もっとも大がかりでかつ神秘的なのは御頭祭である。当館では長期にわたるこの祭のピークをなす前高十間廊でおこなわれる、神と人との饗宴、の供物の一部を復元展示している。



■鉄鐸 (さなぎの鈴)

鉄鐸は鍛造した薄い鉄板を載頭円錐形(メガホン形)に丸め、上端部に門(かんぬき)を通し、内部に鉄の舌を吊し、鈴の形に作ってある。鉄鐸を古くは「御守鈴」「大鈴」「御宝」あるいは「佐奈伎鈴」と呼んでいた。

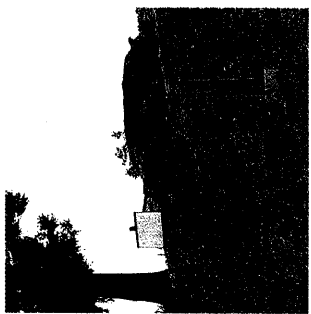


■ミシヤグチ神

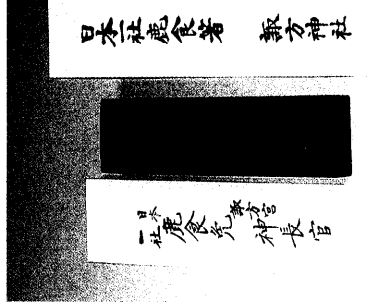
ミシヤグチ神は、神長官邸の屋敷の一面に祭られ、佐奈伎の鈴と鉄鈴と陰陽石の三つをその神器として現在に伝わっております。



市有形文化財 神長官守矢家折溝殿

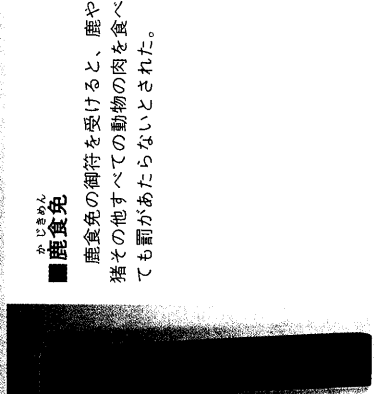


市史跡 神長官裏古墳



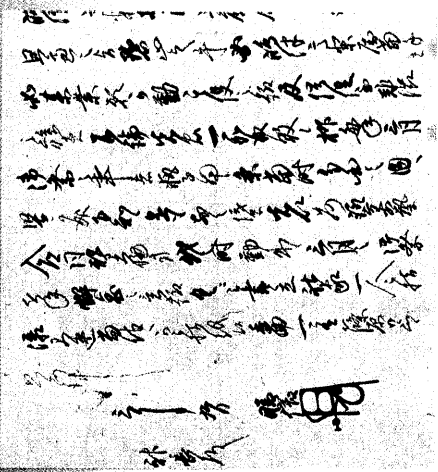
■鹿食免

鹿食免の御符を受けると、鹿や猪その他すべての動物の肉を食べても罰があたらないとされた。



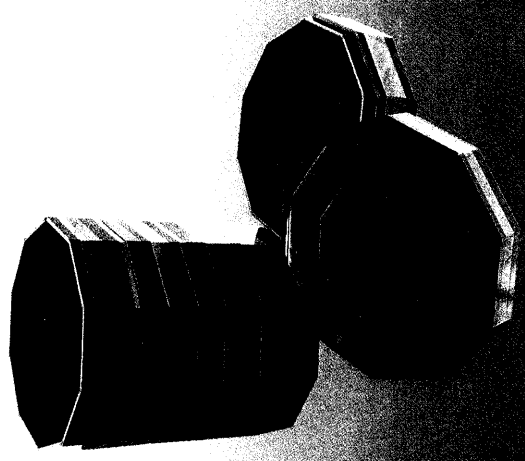
■信玄文書

武田信玄の上社への願文・判物、朱印状などはその数が多い。その一つ、永禄5年(1562年)10月2日付、神長官にあてた寺尾郷の定書には、昌頭竜丸印が押してあって、信玄の朱印状であることがわかる。



■十角重箱

この重箱が収納されていた箱書に「天文14年12月13日、武田晴信公より神長信實がこれを賜う」とあって、その歴史的由緒も非常に明確であるとともに、中世戦国期における漆器、工芸品としての美術的価値も高く、貴重な文化財となっている。



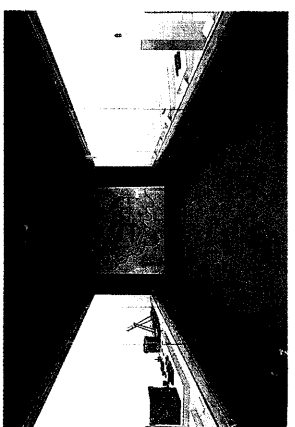
■諏訪大明神画詞

諏訪大明神画詞は、古くは諏訪縁起画詞といわれ、諏訪神社の縁起書で足利朝氏に仕えて信任の厚かった諏訪円忠の著である。



■茅野市神長官守矢史料館

この史料館は、神長官守矢家が、洩矢の神と呼ばれたところより千数百年以上におよび、諏訪大社の祭祀全体を司ってきた関係の洩矢の祭祀の中心をなす御頭祭の飾り付けを菅江真澄の江戸期のスケッチを中心にともつぎ復元展示し、また守矢家に伝来する古文書、さなぎの鈴、鹿食免の版木、大祝即位化粧具、信玄から拝領の十角五重箱等を展示してあります。



史料館展示室